

平成30年度第40回グライディング・アカデミー 「研磨加工の基礎 —基礎から最新技術まで—」 開催報告

【(公社)砥粒加工学会 企画委員会】

1. はじめに

平成30年1月26日(金)に、第40回グライディング・アカデミー「研磨加工の基礎 —基礎から最新技術まで—」が、キャンパスプラザ京都(京都府京都市)において開催されました。今回のグライディング・アカデミーは、(公社)精密工学会関西支部と協賛で開催し、技術者、研究者等41名のご参加をいただき、盛況のうちに終了いたしました。以下に講演会の詳細を報告いたします。

2. 講演会

講演会の開会に先立ち、企画委員会副委員長 山村和也(大阪大学)の挨拶の後、久保雅裕(パナソニック㈱)の司会で講演会が開始されました。

基礎講座として立命館大学 谷泰弘氏から以下に示す4コマの講義をいただきました。

- ・「研磨加工の基礎」
- ・「自動化・省力化のための固定砥粒研磨技術」
- ・「高能率化のための高性能研磨工具と砥粒」
- ・「高付加価値化のためのマルチ BODY 研磨技術」

研磨加工の基礎について、研磨加工の分類および加工メカニズムを詳しく紹介していただきました。その後、固定砥粒研磨技術および遊離砥粒研磨技術等の特徴や加工精度に影響を与える要因など、多岐にわたって分かりやすく解説していただきました。

続いて、最新技術講座として、大阪大学 山内和人氏より、以下に示す2コマの講義をいただきました。

- ・「超平滑面研磨プロセスとしての触媒表面基準エッチング法と EEM 法の原理」
- ・「触媒表面基準エッチング法と EEM 法の応用例」

触媒表面基準エッチング法(CARE)の開発経緯および特徴・応用事例を詳しく説明していただきました。その後、反応性微粒子を用いる EEM 法(Elastic Emission Machining)の開発経緯および特徴・応用事例を詳しく解説していただきました。超精密 X 線ミラーの作製により新しいサイエンスが広げられたことに感銘を受けました。

3. おわりに

全体を通して、熱心に取り込まれる参加者の姿が多く見られました。講演会終了後の総合討論には、参加者から多くの質問が寄せられ、活発なディスカッションの場となりました。

第41回グライディング・アカデミー「切削加工の基

礎」は平成30年5月25日(金)に金沢工業大学虎ノ門キャンパス(東京)で開催する予定です。奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

最後になりますが、貴重な講義をいただきました講師の先生方に厚く御礼を申し上げます。

(文責:企画委員会 張 宇(立命館大学))



図1 立命館大学 谷 泰弘 氏



図2 大阪大学 山内 和人 氏



図3 会場の様子